



感染症週報



(三宅管内感染症発生動向調査報告)

令和7(2025)年 第8週 (2/17 ~ 2/23)

三宅島 感染症の報告はありません。

御蔵島 新型コロナウイルス感染症(COVID-19) : 2件

(三宅管内感染症発生動向調査より集計)



東京都の注目される定点把握対象疾患 <東京都感染症週報 第7週>

- ・伝染性紅斑の定点当たり報告数は、1.03で前週(1.44)より減少しました。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は、1.63で前週(2.69)より減少しました。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、10.20で前週(10.01)からほぼ横ばいです。

島しょの情報 (11島の医療機関からの報告) <第8週 (2/17~2/23)>

- ・インフルエンザの医療機関あたりの報告数は、0.00で前週同様、報告はありません。
 - ・新型コロナウイルス感染症の医療機関あたりの報告数は、2.82で前週(1.55)より増加しています。
- 油断せず状況に合わせて、手洗い・咳エチケット・部屋の換気の基本的な感染対策を続けてください。

2月22日は「ネコ」の日。ネコからうつることがある主な感染症をご紹介します



パスツレラ症

感染経路:猫の口の中に普通にみられる細菌で、かまれることで感染する。

病気の症状・特徴:かまれた部位の腫れと痛み、その後、急速に皮下の炎症が深く広範囲に拡大し、蜂窩織炎になることがある。局所症状が早く1時間以内出現する。



猫ひっかき病(バルトネラ症)

感染経路:バルトネラ・ヘンセリ菌に感染した猫にひっかかれたり、かまれることで感染する。

猫に症状が現れることはまれ。

病気の症状・特徴:1週間前後で傷口が隆起、発熱し、周囲のリンパ節が痛みを伴って腫れる。通常自然治癒する。



カフ/サイトファーガ感染症

感染経路:猫の口の中に普通にみられる細菌で、ひっかかれたり、かまれることで感染する。傷口をなめられて感染することもある。

病気の症状・特徴:潜伏期間は1~14日とされ、発熱、倦怠感、腹痛、吐き気、頭痛等。まれに重症化し、敗血症や髄膜炎を起こす。重症化すると症状の進行は早く、死に至ることもある。



トキソプラズマ症

感染経路:猫の糞便中のオーシスト(休眠卵)を直接または間接的に経口摂取。

病気の症状・特徴:猫はトキソプラズマという寄生虫の終宿主で糞便中にオーシストという形で排出する。妊婦の初感染では、死産および自然流産だけではなく児に精神遅滞、視力障害、脳性麻痺など重篤な症状をもたらすことがある(先天性トキソプラズマ症)。



これらの感染症は、ほんの一部で動物由来の感染症は200種類以上あります。ペットなどの動物とは節度あるふれあいが大切です。

(参考 動物由来感染症ハンドブック 2025(厚生労働省))

《編集・発行》 東京都島しょ保健所 三宅出張所
電話 04994-2-0181 FAX04994-2-1009
<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/miyake/>



動物由来感染症ハンドブック 2025(厚生労働省)

詳しくはこちらをご参照ください。



動物由来感染症(厚生労働省)



島しょ保健所三宅出張所管内 感染症発生動向調査

三宅出張所管内 定点把握対象疾患報告数

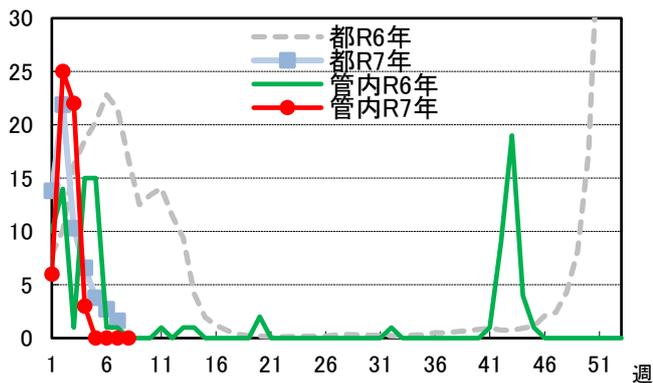
疾病名 (小児科定点及びインフルエンザ/ COVID-19定点)	令和7(2025)年				令和7(2025)年 累計	東京都 定点あたり 7週
	5週	6週	7週	8週		
RSウイルス感染症					0 (0)	0.69
咽頭結膜熱					0 (0)	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎					0 (0)	2.65
感染性胃腸炎					0 (0)	10.00
水痘					0 (0)	0.36
手足口病					0 (0)	0.04
伝染性紅斑					0 (0)	1.42
突発性発しん					0 (0)	0.19
ヘルパンギーナ					0 (0)	0.00
流行性耳下腺炎					0 (0)	0.04
MCLS(川崎病)					0 (0)	0.00
不明発しん症					0 (0)	0.06
インフルエンザ					56 (3)	2.69
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)			1 (0)	2 (2)	14 (4)	3.53

※カッコ内: 御蔵島報告数の再掲

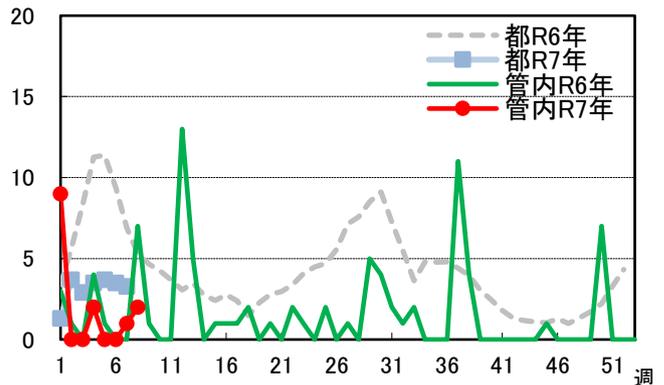
【三宅島出張所管内】患者報告数推移グラフ

管内は三宅・御蔵両島の発生数計
都は定点あたり発生数

■ インフルエンザ



■ 新型コロナウイルス感染症



※5類感染症は、感染症発生動向調査を通じ皆さまに情報提供をすることにより、
感染症の発生および、まん延・拡大を防止することが目的です。

新型コロナウイルス感染症が増加傾向です。
今後の患者報告数を注視し、油断せず状況に応じて、
部屋の換気・咳エチケット・手洗いの基本的な感染対策を続けてください。